# 大阪狭山市歴史文化基本構想

平成31年（2019）2月
大阪狭山市教育委員会

# 大阪狭山市歴史文化基本構想

平成31年（2019）2月
大阪狭山市教育委員会

# ご あ い さ つ

大阪狭山市には、国史跡狭山池をはじめ数多くの歴史文化遺産が存在し、長い歴史を経て育まれ今日に受け継がれてきました。これらは、本市の歴史や文化の理解に欠くことのできない財産であり、地域の宝物ともいえるものです。

しかし近年、少子高齢化や核家族化の進展、生活様式の変化や人々の価値観の多様化などによって、長い歴史の中で伝えられてきた豊かな歴史文化遺産を次世代に継承することが困難になりつつあります。

そこで、市内に存在する多種多様な歴史文化遺産を総合的に把握し、適切に保存・活用していくため、本市の歴史文化に関する総合的な方針や方向性を示す「大阪狭山市歴史文化基本構想」を策定しました。策定にあたりましては、これまでの郷土資料館の活動や市史編さん事業、文化財保護事業などを通じて蓄積された文化財調査の情報を活用しました。

これまでの文化財保護行政では、個々の文化財に対して保存と活用を図ってきましたが、この構想では歴史的・地理的に関連する複数の歴史文化遺産を関連文化財群として捉え、ストーリーを設定し、その魅力や価値をわかりやすく伝え、関連文化財群として保存と活用を図るものとしています。さらに、市民、地域、行政が協働して保存と活用に努めることとしています。

この構想によって、本市の歴史文化を活かしたまちづくりを進め、豊かな歴史文化遺産を将来に引き継ぐとともに、市民の皆様にとってこの構想が、郷土に対する誇りと愛着を深めるものとなりますことを願っております。

最後に、本構想の策定にあたり、熱心なご審議をいただきました大阪狭山市歴史文化基本構想策定委員の方々をはじめ、様々な意見をお寄せいただきました関係者の皆様、そしてたくさんの市民の皆様に心から感謝申し上げ、ごあいさつといたします。

平成 31 年（2019）2 月

大阪狭山市教育委員会
教育長　　長谷　雄二

## 例　言

1．本構想は、平成 28 年度に文化庁「文化遺産を活かした地域活性化事業」国庫補助金を、平成 29・30 年度に文化庁「文化遺産総合活用推進事業」国庫補助金を活用して策定した。

2．本構想の内容は、大阪狭山市歴史文化基本構想策定委員会の審議をもとに事務局がこれを取りまとめた。

3．本構想の編集･執筆は､大阪狭山市教育委員会事務局教育部歴史文化グループが行った。

4．本構想の策定にあたっては、文化庁地域文化創生本部事務局広域文化観光・まちづくりグループ、大阪府教育庁文化財保護課の指導・助言を受けた。

5．本構想に掲載した図・表には章ごとにそれぞれ通し番号をつけた。

6．図のうち、個人または機関が所蔵・提供を受けた場合は、所蔵者名・提供者名を明記し、本市教育委員会が所蔵・作成した場合は明記していない。

# 大阪狭山市歴史文化基本構想　目次

## 第１章　大阪狭山市歴史文化基本構想の策定


**第1節　歴史文化基本構想策定の背景と目的** …… 3
1　歴史文化基本構想とは …… 3
2　構想策定の背景と目的 …… 3
3　用語の定義―文化財と歴史文化遺産― …… 4
**第2節　歴史文化基本構想の位置付け** …… 6
1　基本構想の位置付け …… 6
**第3節　歴史文化基本構想策定の体制及び経緯** …… 8
1　構想策定の体制 …… 8
2　構想策定の経緯 …… 8


## 第２章　大阪狭山市の概要


**第1節　自然環境及び地理的環境** …… 13
1　市の位置 …… 13
2　地形の概観と特徴 …… 14
3　気候 …… 17
4　生態系 …… 17
**第2節　社会環境** …… 19
1　人口・世帯数 …… 19
2　市域の変遷 …… 22
3　土地利用 …… 24
4　産業の構造と動向 …… 26
5　交通 …… 30


## 第３章　大阪狭山市の歴史文化の変遷


**第1節　歴史的変遷を辿る** …… 33
1　先史 …… 33
2　古代 …… 35
3　中世 …… 39
4　近世 …… 42
5　近現代 …… 50

**第2節　日々の暮らしの変遷** 56
1　本市の民俗 56
2　興味深い年中行事 56
3　村の組織と信仰 58
4　人生儀礼 61

## 第４章　文化財調査の取組み

**第1節　これまでの文化財調査の取組み** 67
1　文化財調査の経過 67
2　名誉市民末永雅雄先生の郷土史研究と文化財行政の指導 67
3　行政による文化財調査の概要 73
4　市民による文化財調査の取組み 87
**第2節　調査などで把握された文化財** 91
1　文化財の把握 91
2　市内指定等文化財 93
**第3節　歴史文化基本構想策定にともなう文化財調査** 94
1　これまでの文化財調査の総括と課題 94
2　今回の調査の対象 95
3　今後の文化財調査 98

## 第５章　大阪狭山市の歴史文化の特性

**第1節　大阪狭山市の歴史の特性** 103
1　母なる狭山池の存在 103
2　中世における狭山荘と新開による市域の構成 105
3　狭山に集まる街道 105
4　重層的に蓄積された歴史と地名 106
5　陣屋が置かれたまち 109
6　まちを南北に走る鉄道の開通 109
7　遊園地のあるまち 110
8　高度成長期における都市化 110
**第2節　生活文化の特性** 112
1　狭山池に関連する民俗や漁法 112
2　身近な地蔵信仰 112
3　唯一町場民俗を形成する狭山地区 114
4　ニュータウンの民俗 114

## 第６章　関連文化財群の設定によるまちづくり


**第1節　関連文化財群の設定** 119
1　関連文化財群設定の考え方 119
2　本市の関連文化財群の設定 120
**第2節　関連文化財群とストーリー** 122
1　時代を超えて生き続ける　郷土の誇り狭山池 122
2　式内社周辺の重層的に蓄積する歴史文化 138
3　高野街道等の信仰・交通 152
4　狭山藩による武家文化 166
5　近代化によって生まれた新たな文化遺産 182


## 第７章　歴史文化を活かしたまちづくりの方向性


**第1節　歴史文化を活かしたまちづくりの取組みの経緯** 197
1　歴史文化遺産の保存にかかる取組み 197
2　歴史文化の価値の発信にかかる取組み 198
**第2節　歴史文化を活かしたまちづくりの課題** 204
1　関連文化財群ごとの課題 204
2　歴史文化遺産の保存にかかる課題 206
3　歴史文化遺産の活用にかかる課題 208
**第3節　歴史文化を活かしたまちづくりの基本理念と基本方針** 210
1　歴史文化を活かしたまちづくりの基本理念 210
2　歴史文化を活かしたまちづくりの基本方針 211


## 第８章　歴史文化を活かしたまちづくりの進め方


**第1節　基本構想推進の基本的な考え方** 215
1　基本構想を推進する各主体の役割 215
2　基本構想を推進するための仕組み 216
**第2節　基本構想推進のための方策** 219
1　関連文化財群の保存活用 219
2　関連文化財群ごとの保存活用 219
**第3節　基本構想推進の体制づくり** 224
1　基本構想推進のための連携の強化 224
2　市民・地域と行政との協働によるまちづくりの推進 224
3　基本構想の改訂 225


## 参考資料


①　市内の主な文化財一覧（指定文化財除く） 229
②　狭山池フォーラム 233
③　狭山池シンポジウム 233
④　歴史文化セミナー簡修館の開催 234
⑤　大阪府立狭山池博物館・大阪狭山市立郷土資料館の展示 235
⑥　大阪狭山市立郷土資料館展示記念講演会 237

# コラム一覧


狭山の地名の由来 16
畑作地帯での酪農 27
行基焼と呼ばれた須恵器 37
狭山池から見つかった石樋に転用された刳抜式家型石棺 40
狭山藩歴代外藩祖　北条氏規 43
家譜と日記を遺した北条氏朝 46
狭山池の池守田中家 48
『迎月庵幻俳句集』にみる郷土の姿 51
マスコットキャラクターさやりんの誕生 55
盛んだった大峰山に登る山上講 59
三十三度行者と供養塔 63
末永雅雄先生と郷土狭山 68
名著『池の文化』の刊行 72
池尻城の発掘調査と保存活動 74
狭山藩主の子どもたちの墓 78
『岩室村年代記』の世界 80
池底に眠っていた重源狭山池改修碑 83
『絵図に描かれた狭山池』の発行 85
大野芝の開発と大野惣絵図 86
市に寄贈された少年採集の石器 88
陶器山の自然を守る取組み 90
狭山池まつりの開催 104
最後の藩主北条氏恭 108
住之江の競艇場は、前は狭山にあった 111
池之原地区の地蔵盆 113
市制を記念しタイムカプセルを埋設 115
狭山池の発掘調査時の現地説明会 199
簡修館って武道場？それとも 201
「地名は語る」の連載 203
今熊市民の森の保全 218